

上肢骨折手術患者における受傷機転と慢性足関節不安定症の関連性の検討

1.研究の名称

上肢骨折手術患者における受傷機転と慢性足関節不安定症の関連性の検討

2.倫理審査と許可

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の一括審査を受け、各研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3.研究機関の名称・研究責任者の氏名及び研究分担者の氏名

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康管理学講座 健康情報学分野

研究責任者：中山健夫 教授

研究分担者：高橋由光 准教授

萩原祐介 医療法人社団 東邦鎌谷病院 整形外科

我妻朋美 研究生

4.研究の目的・意義

上肢骨折の主な受傷機転は転倒であることが多く、転倒そのものの原因には、多くの因子が報告されていますが、足関節の不安定性の評価はされていません。この研究の目的は、上肢骨折手術を受けた患者さんの、受傷機転と慢性足関節不安定症の関連性を評価し関連性を検討します。

この研究をとおして、再転倒を予防に対する選択肢が増え、骨折予防に向けた介入の視点が広がる事を目指しています。

5.研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から2025年3月31日まで。

6.対象となる試料・情報の取得期間

2021年7月1日～2022年12月31日に、東邦鎌谷病院で上肢骨折の手術加療を受けた患者さんのデータ。

7.試料・情報の利用目的・利用方法

<利用目的>

骨折受傷側と慢性足関節不安定性との関連を検討するために用います。

<利用方法>

データ集計・解析の結果は、学会或いは論文で発表します。

8.利用または提供する試料・情報の項目

上記期間の東邦鎌谷病院で治療が行われた際の電子カルテから問診・採血のデータ・リハビリテーション評価データを利用します。

9.利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日から1か月後。

10.試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康管理学講座 健康情報学分野 高橋由光

11.研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

12.他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

13.研究資金・利益相反

京都大学大学院健康情報学教室運営費にて実施します。利益相反はなく、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

14.研究対象者等からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

我妻 朋美

京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康管理学講座 健康情報学分野

Tel: 075-753-9477

E-mail: wagatsuma.tomomi.k48@kyoto-u.jp (*を@に変えてください)

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

Tel: 075-753-9301

E-mail: 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)

3) 共同研究機関における相談等窓口

東邦鎌谷病院 整形外科外来受付

〒273-0132 千葉県鎌ヶ谷市粟野594

Tel: 047-445-6411 (代)

E-mail: wagatsuma.tomomi.k48@kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)

15.外国にある者に対して 試料・情報を提供する場合

外国の研究機関への試料・情報の提供は行いません。